(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2008-295975
(P2008-295975A)
(43)公開日　平成20年12月11日(2008.12.11)

| (51)Int.Cl. | | F I | | テーマコード（参考） |
|---|---|---|---|---|
| A43B 17/00 | (2006.01) | A43B 17/00 | | 4F050 |
| | | A43B 17/00 | E | |

審査請求 未請求　請求項の数 1　書面　（全 2 頁）

(21)出願番号　特願2007-165628 (P2007-165628)
(22)出願日　平成19年5月29日 (2007.5.29)

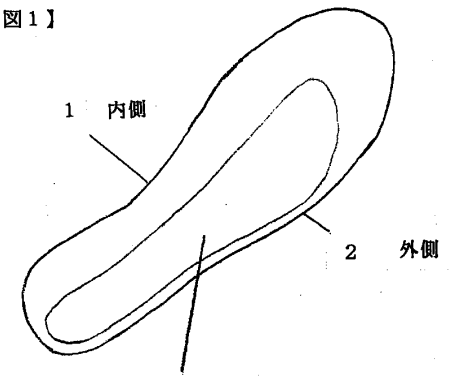
(71)出願人　507210074
中林　百合子
千葉県柏市しいの木台５－３４－３３
(72)発明者　中林　百合子
千葉県柏市しいの木台５－３４－３３

Ｆターム(参考)　4F050 EA04　EA09　EA19　HA77　KA06

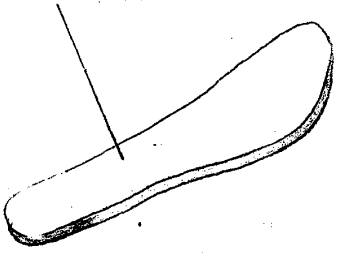
(54)【発明の名称】Ｏ脚予防矯正のための靴の中敷

(57)【要約】
【課題】　内側（１）を低く、外側（２）を高くしたことで、膝軟骨の片側に掛かりがちだった負荷が均等になり、膝に無理のない歩行ができるようにした。また、この形状は外反母趾にも優しい。Ｏ脚の予防矯正の為ばかりでなく、膝痛の予防改善にも繋がる健康具を提供する。
【解決手段】　内側（１）と、外側（２）との、高低差を付けたことを特徴とする。
【選択図】図１

【図１】

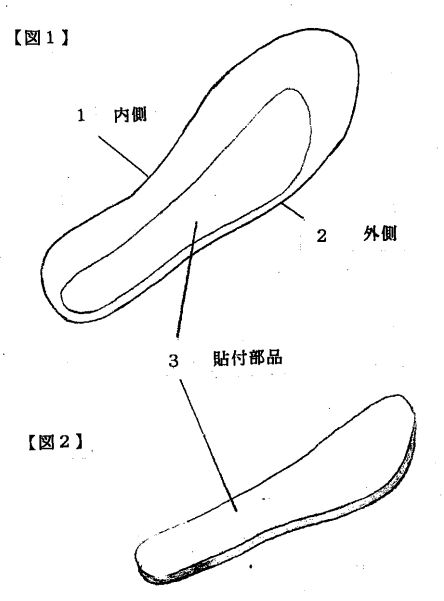



【図２】



【特許請求の範囲】
【請求項１】
靴の中敷き裏側に、接着剤で図面（２）を貼り付けた靴の中敷。
【発明の詳細な説明】
【発明の詳細な説明】
【０００１】
この発明は、靴の中敷きの裏側に図面（２）を、接着剤で貼り付けて高低差を付けた靴の中敷である。
従来の靴の中敷は、消臭、通気等が考慮され、弾力性はあるものの平面なものが多かった。その平面だった靴の中敷を、図面で説明すれば、図面（１）で見るように、足の外側と内側の高低差をつけた。
本発明は、このような構造であるから、膝軟骨の片側に片寄りがちだった負荷が均等になる。また、膝に無理のない歩行が出来るようになるため、Ｏ脚の予防・矯正は素より、膝痛の予防改善にも繋がる健康具としての特徴を有している。
【図面の簡単な説明】
【０００２】
【図１】　本発明の靴中敷き裏側の平面図である。
【図２】　本発明の貼付部品の斜視図である。
【図３】　本発明の断面図である。
【符号の説明】
【０００３】
１．内側　　２．外側　　３．貼付部品　　４．中敷きの表面

【図１】




【図２】



【図３】

